



グリーン交悠録

関西の名門コースでの 名士たちとの「ゴルフ交悠録」

本誌主幹

大 中 吉 一

ジャパンエース ゴルフ倶楽部

『ジャパンエース ゴルフ倶楽部』の 19番ホールは、「すきやきハウス」

今回は、私の故郷でもある関西における素晴らしいコースと、そこで出会った素晴らしい方たちとの「ゴルフ交悠録」のお話をしたと思います。

まずご紹介しなければならぬのは「関西電力株式会社」秋山喜久氏との出会いです。秋山氏が「関西電力株式会社」の社長に就任されたのは1991年。その後会長になられ、関西経済連合会の会長として敏腕を振るわれました。1997年には「日本観光ゴルフ株式会社」の取締役に就任されるなど、秋山氏はゴルフに熱心な方でした。

初めてゴルフにお供させていただいたのは、昭和47年7月30日開業という名門コースである『ジャパンエース ゴルフ倶楽部』でした。滋賀県栗東市の鶏冠山を背景に広がるオーソドックスなコースは、どこことなく気品ある風情で、とても穏やかでありながら、戦略的には攻めがいのあるコースでした。話題になった



すき焼きやしゃぶしゃぶに
舌鼓を打ちながら情報交換

のが、当時の首相であった田中角栄氏が第1号のメンバーということ、田中首相のロッカーナンバーは「1」でした。

この「ジャパンエース ゴルフ倶楽部」の19番ホールは、「すきやきハウス」と名付けられた別棟のレストランで、ホールアウトしたメンバーたちはここで、すき焼きやしゃぶしゃぶに舌鼓を打ちながら、その日のゴルフの話や、ゴルフのみならず様々な情報交換を和やかに、とても素晴らしいゴルフ後のひと時を味わえるコースでした。

この素晴らしいコースに最初にお誘いしたのは、「日本生命保険株式会社」の副社長を務められた高橋壽常氏。さらに「株式会社三和銀行」

の副頭取になられた山本信孝氏、「ダイキン工業株式会社」の副社長を務められた井上義國氏、「大阪ガス株式会社」の社長・会長を歴任された領木新一郎氏、さらに「株式会社住友銀行」の副頭取を務められた臼井孝之氏などなど、関西を代表する財界の名士たちをお連れし、この方たちと関西の名だたる名門コースを次々に訪れたことは、今でも鮮明に記憶の中に残っています。

世界ゴルフ場100選にふさわしい

『鳴尾ゴルフ倶楽部』

関西財界の名士と訪れたのは、もちろん日本を代表する名門コースばかりです。

まず、私が大好きな大阪府茨木市にある「茨木カントリー倶楽部」。大阪府で最初にできた大変由緒ある名門コースで、東西それぞれに18ホールを持ち、「日本プロゴルフトーナメント」や「日本オープンゴルフ選手権」など、さまざまなトーナメントが開催されたことでも知られています。

その攻略は実に困難で、日本でも

有数の難しいコースとして知られています。1996年に開催された第61回「日本オープンゴルフ選手権」大会では、優勝したピーター・テラバイネン選手のスコアは4日間通算で282打・2アンダーでした。通常の男子のトーナメントであれば2桁かそれに近いアンダーパーになるはずですが、テラバイネン選手のこのスコアは「茨木カントリー倶楽部」がいかに攻略困難なコースであるかの何よりの証明だと思えます。



茨木カントリー倶楽部

次にご紹介したいのが、兵庫県宝塚市にある『宝塚ゴルフ倶楽部』です。2015年に日本プロゴルフの殿堂入りを果たした大迫たつ子プロが、1967年の中学校卒業と同時にから1971年のプロテスト合格までキャディーとして所属していたことも知られており、2026年には第59回日本女子オープンゴルフ選手権の開催が予定されています。

同じ兵庫県の西宮市にある『西宮カントリー倶楽部』は、六甲山の麓に広がるコースで、起伏のある土地に造成されたコースですが、そのレイアウトは実に素晴らしく、美しく攻略しがいのあるコースです。

そして私がいま最も注目しているのが、兵庫県川西市、六甲山の上にある『鳴尾ゴルフ倶楽部』です。

世界名門100コースというリストがありますが、おそらくその1つに数えられるほどの素晴らしいコースであると思えます。

世界ゴルフ場100選に選出されるコースとして、日本では、山間コースとして知られる兵庫県三木市にある『廣野ゴルフ倶楽部』、林間コースとして知られる静岡県伊東市



鳴尾ゴルフ倶楽部

にある『川奈ホテルゴルフコース富士コース』、埼玉県狭山市にある『東京ゴルフ倶楽部』などが知られていますが、この『鳴尾ゴルフ倶楽部』も近い将来にその仲間入りをするコースだと思えます。ぜひ一度、機会があつたらプレイされてみてはいかがでしょうかでしょう。

酷暑といわれる気候が続きますが、どうか健康に留意されて、素晴らしい『ゴルフ交悠録』を重ねられますようお祈り申し上げます。